



## 金融機関のカード決済データを利用した インバウンドの消費動向調査（速報）

福岡県商工部観光局観光政策課

令和7年3月14日



# ● 金融機関のカード決済情報を活用した外国人観光客の消費動向調査

## (1) 調査目的・項目

- 金融機関のカード決済情報を活用し、外国人観光客の国別・地域別の消費動向を調査し、今後の観光資源開発やプロモーションに活用することで、さらなる消費拡大を促す。(令和6年度新規事業)

### 調査項目

項目名	内容	備考
基礎分析	利用者の属性(カード発行国)、利用業種、利用状況	
時系列比較	年、月別での比較(2023年~2024年)	
周遊分析	県内及び来県前後の都道府県の周遊傾向・周遊ルートなど	※今後分析 実施予定
高単価者 (富裕層)分析	県内で20万円以上消費した外国人観光客の動向分析	

※12月決済分のデータ抽出期間等の関係で、周遊分析、高単価者分析については3月中に実施予定。  
※また、全国との比較など、今回の報告においては、一部1月~11月での分析を行っている項目もある。

## (2) 分析対象の定義

- ・ 福岡県内に所在するVJA※加盟店の決裁データ（VISA、Mastercard、iD、銀聯の4ブランド）を対象。
- ・ 地域ごと（福岡地域、北九州地域、筑豊地域、筑後地域）、市町村ごとの分析を実施。
- ・ 利用金額のほか、利用人数ベースでの分析も実施。

※VJA：全国の主な銀行・金融機関系カード会社で構成するVisa／Mastercardカード発行企業のアソシエーション

項目	内容	除外条件
対象加盟店	福岡県内に所在するVJA加盟店	消費所在地が不明となる加盟店（ネット販売など） 観光目的の来訪に関係しない業種（ふるさと納税、公共料金など）
対象会員	対象加盟店で、外国発行カードを利用して決裁をした人	日本在住者（日本国内で4カ月以上にわたる決済が見られた人） 在住者のみが使うであろう業種の利用者（ふるさと納税、公共料金など）
カードブランド	Visa、Mastercard、iD、銀聯	
対象期間	2023年1月～12月、2024年1月～12月	
属性	国籍（カード発行国）	
業種	2024年総利用金額の上位10業種＋その他	
エリア	福岡県（下表の地域、市町村ごと）	
切り口	利用人数、利用金額	

地域	対象市町村
北九州	北九州市、行橋市、豊前市、中間市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、苅田町、みやこ町、吉富町、上毛町、築上町
福岡	福岡市、筑紫野市、春日市、大野城市、宗像市、太宰府市、古賀市、福津市、朝倉市、糸島市、那珂川市、宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、久山町、粕屋町、筑前町、東峰村
筑後	大牟田市、久留米市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、小郡市、うきは市、みやま市、大刀洗町、大木町、広川町
筑豊	直方市、飯塚市、田川市、宮若市、嘉麻市、小竹町、鞍手町、桂川町、香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村、福智町



### (3) 分析調査概要\_① (利用人数、金額等の実績)

- ・福岡県の2024年の外国人観光客の消費(カード決済)は、2023年比で加盟店数24%増、利用人数66%増、利用金額82%増と大きく増加しており、外国人観光客の消費全般が増加していることがうかがえる。
- ・利用金額は約450億円で、2024年の外国人旅行消費額約4800億円の約10%。

加盟店数、利用人数、利用金額の比較(2023年~2024年)



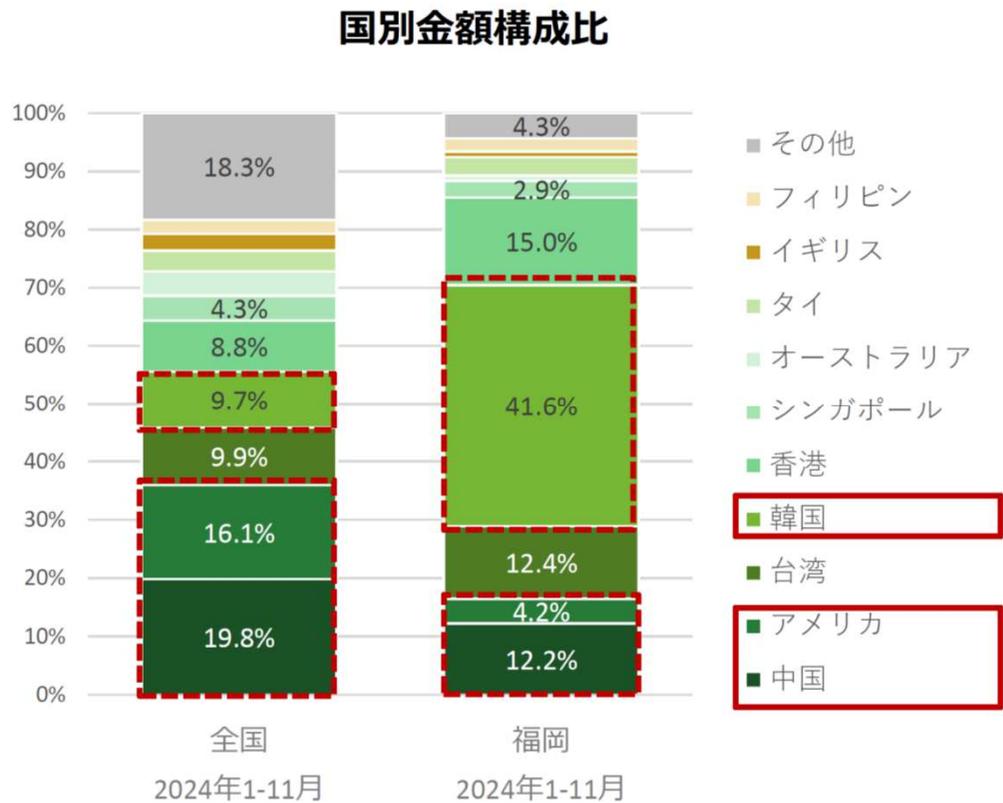
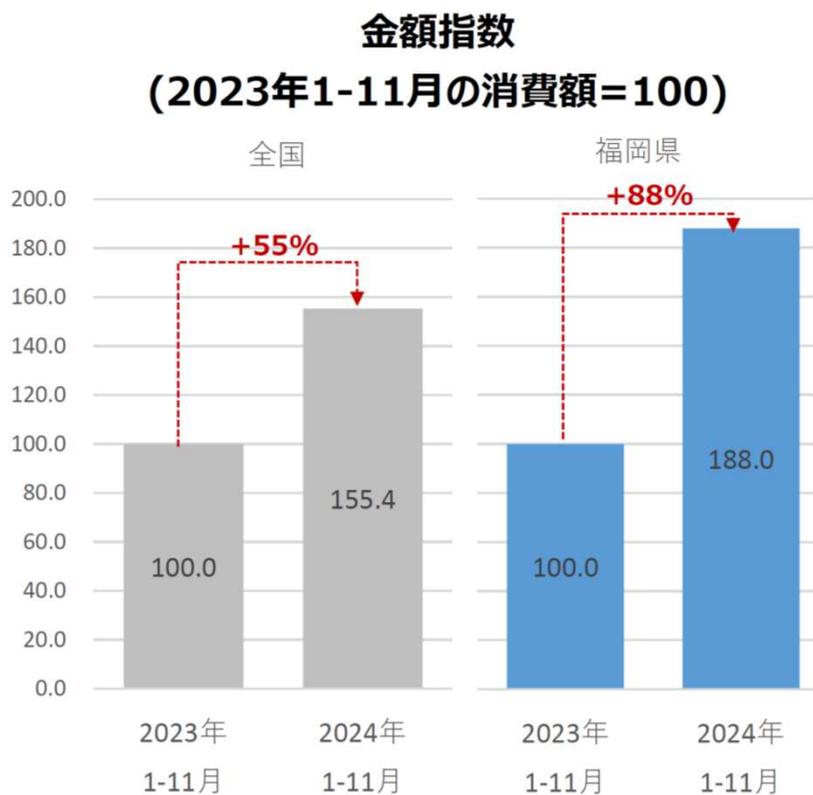
### (3) 分析調査概要\_② (全国比較)

・2024年1月～11月の消費金額の伸び率（対前年比）は、全国が2023年から5.5%増に対し、福岡県は8.8%増と大きく上回っており、インバウンド消費の誘引に成功している。

・国別の金額構成比は、全国は1位中国（19.8%）、2位アメリカ（16.1%）に対し、福岡県は1位韓国（41.6%）が圧倒的に多い状況。

#### 全国との金額指数の比較（1月～11月）

#### 全国との国別金額構成比の比較（1月～11月）



### (3) 分析調査概要\_③ (国・地域別の人数・金額・一人当たり利用単価)

- ・2024年の国・地域別の利用状況は、利用人数（約90万人、約60%）、利用金額（約186億円、約41%）ともに韓国が最大。
- ・利用人数、利用金額については、中国が前年比で3倍以上、シンガポール、フィリピン、オーストラリアが2倍以上と大きく伸びている。
- ・1人当たり利用金額（単価）については、全体で約10%の増。総利用額の上位10か国では、中国が特に多い。
- ・韓国は前年比の伸び率は177%と高いが、利用単価については約2万円と他の国・地域に比べて低い。

#### 利用人数・金額・1人当たり単価（国・地域別）

	利用人数（人）			利用金額（千円）			1人当たり利用金額（円/人）		
	2023	2024	過去対比	2023	2024	過去対比	2023	2024	過去対比
総計	936,150	1,557,297	166.4%	24,825,670	45,066,620	181.5%	26,519	28,939	109.1%
韓国	565,228	901,618	159.5%	10,530,100	18,636,680	177.0%	18,630	20,670	111.0%
香港	76,544	138,806	181.3%	3,941,192	6,806,485	172.7%	51,489	49,036	95.2%
台湾	82,737	145,820	176.2%	3,301,922	5,593,987	169.4%	39,909	38,362	96.1%
中国	20,678	65,970	319.0%	1,750,384	5,285,730	302.0%	84,650	80,123	94.7%
アメリカ	42,126	66,056	156.8%	1,073,862	1,899,655	176.9%	25,492	28,758	112.8%
タイ	45,689	49,084	107.4%	1,406,251	1,491,077	106.0%	30,779	30,378	98.7%
シンガポール	17,967	37,346	207.9%	703,859	1,462,826	207.8%	39,175	39,170	100.0%
フィリピン	10,057	23,233	231.0%	430,528	1,092,727	253.8%	42,809	47,033	109.9%
オーストラリア	11,390	22,925	201.3%	205,918	422,252	205.1%	18,079	18,419	101.9%
イギリス	13,345	20,094	150.6%	302,652	412,465	136.3%	22,679	20,527	90.5%

### (3) 分析調査概要\_④ (国・地域ごとの業種利用率)

- ・利用実績がある業種としては、全体的に百貨店・ショッピングセンターや免税店、空港店舗、飲食店・居酒屋の利用率が高い。
- ・国・地域別に業種ごとの利用率を見ると、韓国は免税店が、香港は百貨店・ショッピングセンターが他地域に比べて高い。
- ・中国、オーストラリアは、空港店舗の利用率が低い。また、中国は家電量販店の利用率が他地域に比べて高い。
- ・アメリカ、イギリス、シンガポールはホテル・旅館の利用率が高い。

#### 国・地域別の業種利用率

利用率 (%)	利用人数 (ユニーク)	利用業種											
		百貨店・ショッピングセンター	ホテル・旅館	免税店	アパレル	飲食店・居酒屋	空港店舗	貴金属・時計	家電量販店	レンタカー・GS	その他小売	その他	
総計	1,557,297	28.9%	11.0%	28.7%	16.2%	25.8%	27.5%	1.1%	3.3%	1.8%	7.6%	31.2%	
1 韓国	901,618	29.0%	8.4%	39.2%	15.2%	28.4%	31.7%	0.2%	1.9%	1.3%	7.8%	32.3%	
2 香港	138,806	39.1%	15.3%	14.8%	17.2%	21.8%	22.0%	0.4%	3.4%	4.6%	9.5%	29.0%	
3 台湾	145,820	27.3%	10.7%	21.7%	22.2%	13.4%	28.9%	8.2%	6.5%	3.4%	5.0%	23.7%	
4 中国	65,970	26.6%	11.2%	21.3%	7.8%	18.4%	6.8%	0.5%	12.5%	0.3%	5.1%	31.3%	
5 アメリカ	66,056	22.4%	21.5%	4.5%	14.0%	29.0%	22.1%	0.6%	2.8%	1.3%	7.1%	30.0%	
6 タイ	49,084	31.6%	9.8%	24.4%	23.3%	20.7%	31.4%	0.2%	5.0%	1.7%	8.4%	37.9%	
7 シンガポール	37,346	31.4%	19.0%	10.5%	22.4%	27.5%	20.4%	0.4%	2.1%	4.0%	9.1%	34.1%	
8 フィリピン	23,233	34.3%	9.1%	10.4%	25.7%	18.3%	30.0%	5.2%	6.5%	0.1%	9.2%	32.4%	
9 オーストラリア	22,925	24.6%	14.6%	2.9%	15.4%	36.9%	15.4%	0.4%	3.3%	2.4%	7.9%	31.6%	
10 イギリス	20,094	18.1%	21.2%	3.2%	14.2%	31.6%	17.4%	0.2%	2.6%	1.2%	8.1%	31.7%	

### (3) 分析調査概要\_⑤ (国・地域ごと、業種ごとの利用単価)

- ・一人当たりの単価が高い中国については、特に百貨店・ショッピングセンター、免税店などでのモノ消費が多い傾向がある。
- ・アメリカ、シンガポール、フィリピンは、ホテル・旅館の支出単価が高い。
- ・韓国は、全体的に単価は低くなっているが、特にホテル・旅館については全体平均の半分以下と、特に低い状況。
- ・貴金属・時計は全体的に単価が高いが、特に中国の単価が高い。人数は全体の0.5%程度（6ページ参照）だが、高額の消費を行う層が存在している。

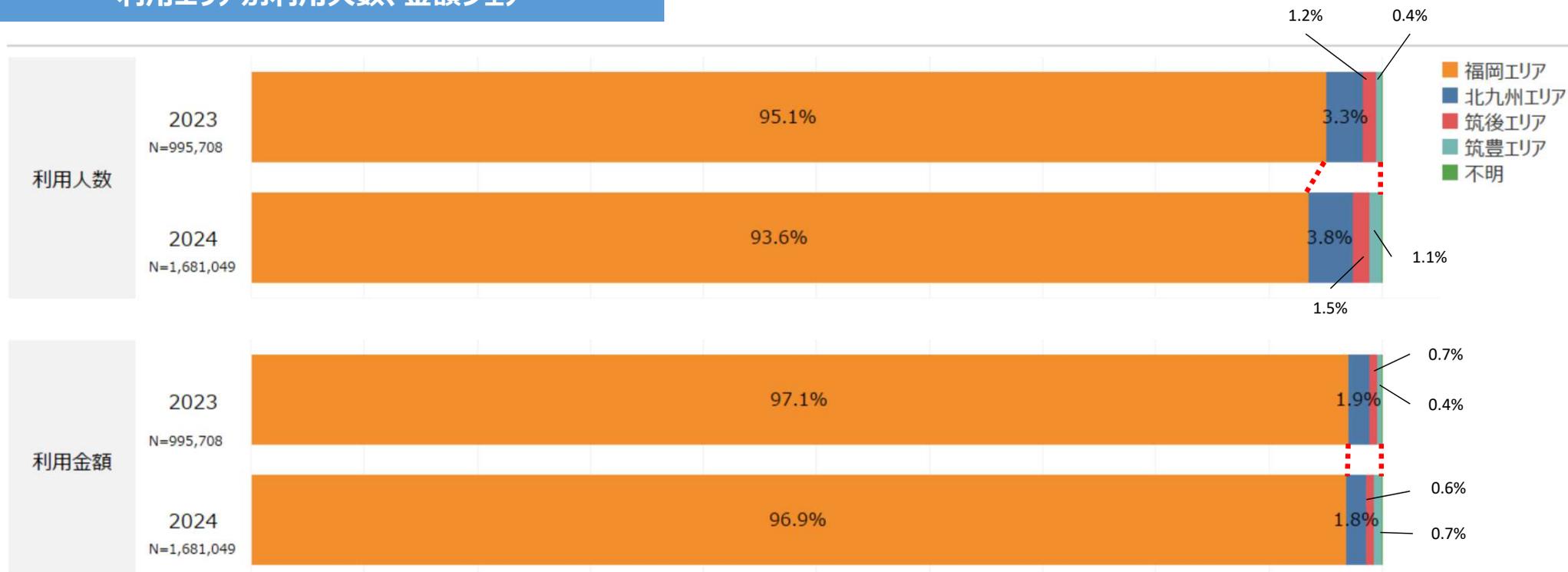
#### 国・地域別×利用業種別の1人当たり単価

一人当たり金額 (円)	利用人数 (ユニーク)	利用業種										
		百貨店・ショッピングセンター	ホテル・旅館	免税店	アパレル	飲食店・居酒屋	空港店舗	貴金属・時計	家電量販店	レンタカー・GS	その他小売	その他
総計	1,557,297	32,727	32,531	12,196	15,074	9,295	5,902	86,846	25,701	42,262	10,014	8,338
1 韓国	901,618	22,343	14,172	9,219	14,601	8,767	4,000	79,029	14,360	27,152	7,787	6,258
2 香港	138,806	56,283	46,461	19,139	16,192	15,825	10,294	236,204	26,230	54,069	10,901	10,938
3 台湾	145,820	35,275	40,378	19,682	16,963	10,118	12,523	53,164	33,349	51,882	15,718	9,609
4 中国	65,970	154,442	39,213	53,966	24,636	14,044	10,812	673,745	41,680	50,485	28,286	26,114
5 アメリカ	66,056	17,126	59,382	16,536	15,269	7,896	5,537	119,659	23,975	44,458	11,955	9,919
6 タイ	49,084	23,822	41,912	15,491	12,928	8,730	11,770	135,934	20,176	44,949	13,477	8,608
7 シンガポール	37,346	33,751	63,457	16,236	13,363	9,912	8,232	182,218	31,405	65,338	9,298	7,214
8 フィリピン	23,233	32,212	65,915	15,766	14,937	8,311	10,202	168,168	35,563	28,300	20,701	21,245
9 オーストラリア	22,925	13,286	30,113	14,216	12,674	7,668	4,441	125,678	15,279	45,865	9,007	6,513
10 イギリス	20,094	9,830	52,255	9,457	11,466	5,776	3,029	86,295	17,775	35,139	7,692	5,461

### (3) 分析調査概要\_⑥ (エリアごとの状況)

- ・利用人数、利用金額ともに福岡エリアが9割以上を占める。
- ・2024年は、2023年に比べて利用人数の福岡エリア以外の割合がわずかだが上がっている。利用人数の増加に伴い、利用範囲 (= 周遊範囲) が拡大してきていることがうかがえる。
- ・一方、利用金額は利用者に比例して拡大してはならず、利用範囲の拡大をさらなる消費拡大につなげていく必要がある。

#### 利用エリア別利用人数、金額シェア



※N数はエリア利用における「延べ人数」

### (3) 分析調査概要\_⑦ (エリア別傾向)

- ・エリアの消費のほとんどを占めている福岡エリアをはじめ、全体的に利用者・利用金額ともに伸びている。
- ・一方、1人当たり利用金額は福岡エリアは前年度から伸びているが、その他のエリアは前年度より下回っている。
- ・観光消費におけるシェアが高い宿泊をはじめ、インバウンドの県域全体での消費を喚起していく必要がある。

#### 国・地域別・エリア別傾向

	利用人数 (人)			利用金額 (千円)			1人当たり利用金額 (円/人)		
	2023	2024	過去対比	2023	2024	過去対比	2023	2024	過去対比
総計	936,150	1,557,297	166.4%	24,825,670	45,066,620	181.5%	26,519	28,939	109.1%
福岡エリア	915,933	1,517,187	166.1%	24,105,653	43,671,581	181.2%	26,318	28,785	109.1%
北九州エリア	32,303	63,831	197.9%	462,833	801,681	173.2%	14,328	12,559	87.5%
筑後エリア	11,372	24,399	213.5%	168,771	280,162	166.0%	14,841	11,483	77.7%
筑豊エリア	3,819	17,584	448.6%	87,497	312,422	357.1%	22,911	17,767	79.6%
不明	285	120	42.1%	915	775	84.6%	3,212	6,456	201.0%

※不明については、ネット決済など消費地域が確認できなかったもの。



## (4) 分析総評

① 2024年の福岡県の外国人のカード決済による消費は、2023年に比べ人数ベースで7割増、金額ベースで8割増と大きく伸びている。

② 国・地域別に見ると、韓国が全体の消費の約4割を占め最大であるが、1人当たり単価については2万円程度と低い。利用人数・利用金額については、中国、シンガポール、フィリピン、オーストラリアなど前年から2倍以上と大きく伸びている国・地域がある。

③ 中国をはじめ、全体的に百貨店、免税店、空港店舗などでのモノ消費が中心。

④ 消費のほとんどは福岡市を中心とする福岡エリアになっている。観光客の増加に伴い、消費エリアや金額にもわずかながら拡大が見られる。